

感想・気付き (1)

34期原田メソッド認定パートナー養成塾を受講させていただき、自分の人生を振り返り、これからの人生を考えるよき機会となりました。ありがとうございました。

仕事の理念「ロジックツリー」から始まり、「長期目的・目標設定」等、書いていくうちに考えが見える化し、頭の中がすっきりしていきました。

特に印象に残っているのは、ストローク実践です。

一人目から五人の実践を行った感想は、まずは一週間一人に集中して実践するのがわかりやすかったです。その週は、その一人に絞って意識しているのですが、生活する日常では多くの人とかかわっているので、結局はすべての人に意識してストロークを出しているということに気が付きました。

日常の自分の行動が周りの人への励ましであり、それが習慣化することにより周りの人たちには、ストロークをだしている私とそのままでの性格・行動パターンと認識されていきました。ありがたいことです。

ストローク実践を始めてから、特に「ちょっと話を聞いてほしいけど、よろしいですか」「先生、懇談お願いします」という声掛けや電話、メールが次々と出てきました。なんとなく声のトーンやタイミングで深刻な内容とを感じるものもあり、じっくり聞いてあげました。

今回やらなければいけないことで悩んでいた時、原田先生から講義の中で、「メンターさんは、何人いますか」との問いかけがあり、はっとしました。私自身たくさんいて、励ましを求めて頼っていきました。困ったことも解決策もいろいろ話していくうちに救われました。

話しながら驚いたのが、私が助けを求めているのに、「いつもありがとう。励ましてもらっているよ」と感謝されて、お互いに褒め褒めタイムになり、どっちがメンターさんなのかメンティさんなのかわからないなあと感じました。もちつもたれつというのか、人のために行動していることは、結局自分に戻ってくる、自分が助けられるということを実感しました。

最も驚いたことは、普段個人的な話をしたことがない人がたまたま隣に座った時に「森田さんの今の目標ってなんですか?」「それを達成して何が嬉しいの?」と聞かれたときです。いきなり目の前に「長目」が出てきました。「無形」「社会・他者」を述べたときに「納得した! 応援する。」って言われたときに、ずっと心が通じ合いました。その人は、なんでそんなに頑張るのだろうと不思議に思っていたそうです。